

防災かしの木

上尾かしの木特別支援学校

防災部 防災推進委員会

令和4年3月1日 第21号

今号では、高等部の防災に関する授業の様子と全校ショート避難訓練の様子を紹介いたします。

3年生（Ⅳ類）の防災教育

高等部3年1組（Ⅳ類）の防災学習は、①ハザードマップを知り活用する ②自然災害時に自分ができることを考える を目標に取り組みました。

【ハザードマップを知り、活用する】

今回は、学校周辺のハザードマップを活用し、地震と豪雨時の危険場所を確認していきました。生徒達は、自然災害が発生した際の対応方法と考えられる被害をこれまでの学習でよく学んでいました。

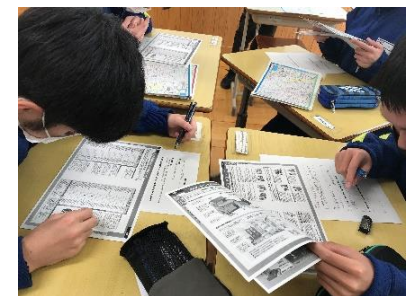
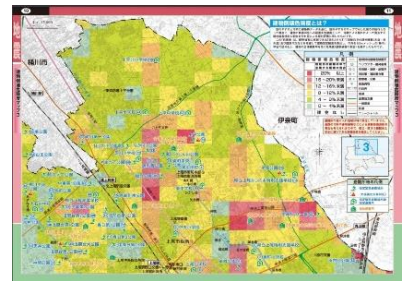
しかし、生活圏内のどこに、どんな危険が潜んでいるか、具体的に知らない生徒が多かったです。ハザードマップを確認すると、地震発生時は、大きな道路付近の建物が全壊する確率が高いこと、豪雨時には、学校周辺は50cmの浸水が予想されることを知り、防災への意識が高まりました。

【自然災害時に自分ができることを考える】

はじめは意見が出てこなかったのですが、仲間の意見や防災の資料を参考にすることで自分ができることを考えることができました。他者のことを思いやる優しい気持ちの意見が多く、さすが高等部3年生と感じました。生徒達から出た意見は以下の通りです。

身体の不自由な人や高齢者の手伝い、被災地に寄付をする、ボランティア活動をする、困っている人を助ける、応急手当をする

自然災害はいつ起こるかわかりません。埼玉県は噴火や津波などは関係ないと思いがちですが、海や山へのレジャー中に自然災害が起こるかもしれません。どこにいても、命を守る行動をとれる様、今後も防災学習に取り組んでいきたいと考えています。



2年生の防災教育

高等部2年生は、地震が起きた時に必要な避難方法についてビデオを見て学びました。学校、家、登下校中の様々な場面で具体的な避難方法を学んだあと、物が倒れてきた場合や窓ガラスの近くにいる場合の避難方法を、実践を通して体験しました。生徒たちは窓ガラスから離れたり、物から離れるなどして、安全な避難方法を体感して学ぶことが出来ました。

また、学校で地震が起きた際には、渡り廊下は使用しないことを改めて学習しました。更に緊急地震速報を流し、教室や廊下、階段や渡り廊下での避難の仕方を学習しました。場所によって避難の方法が違うことを体験し、改めて学ぶことが出来ました。

1年生の防災教育

高等部1学年では、10月に後期避難訓練・引き渡し訓練の事前学習として「地震から身を守る」「地震・災害の備え」をテーマに防災学習を行いました。スライドの鑑賞やクイズで、もし学校で活動中に大地震が起きたらどうすればよいかを確認しました。後半は、防災食の体験として、アルファ米のごはんを湯で柔らかくして実際に食べてみました。

1月には、地震以外の災害（台風・水害・雪害など）についても「どうすればよいか」防災学習を行いました。

「避難しよう」「備えよう」など学んだことをもとに、美術の時間に防災を呼びかけるポスターを制作しています。



// 防災ポスター //



「ショート」避難訓練

本校では、年に2回の法定避難訓練に加え、年3回の「ショート避難訓練」を実施しています。ショート避難訓練は、一次避難（本校の場合、校庭等に避難する前の段階で、安全な場所を見つけ、命を守る行動をとることを「一次避難」としてしています）までの訓練で、児童・生徒には事前に知らせず、休み時間など、学校生活の様々なシチュエーションを想定して実施しています。

今年度3回目のショート避難訓練を、高等部の教室移動時間（各作業室への移動時間）に合わせて2月15日に実施しました。教室以外の場所で緊急地震速報が流れたらどう行動したらよいか…多くの子どもたちが、その場で身を屈めたり、近くの人たちと寄り添いながらじっと動かず待機し続けたりと、命を守る行動を取ることができていました。「倒れてこない」「落ちてこない」「飛んでこない」安全な場所を見つけ、安全姿勢を取り、地震に備える習慣を、今後も訓練を積み重ねることで身に付けていって欲しいと思います。

